

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いとキッズ (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 10 日		～ 令和 7 年 1 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和 7 年 2 月 4 日		～ 令和 7 年 2 月 8 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 25 日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ほぼマンツーマンの対応ができています。	児童が興味あるものを取り入れて、楽しく活動できるようにしている。	
2	完全バリアフリーで、室内に段差がない。	独歩の児童はもとより、車いすの児童も安全に動き回ることができるよう配慮している。	クッションタイプのブランコや、包み込むタイプのハンモックなど、障がいのある児童でも楽しめる遊具を揃えている。
3	看護師が常駐している。	児童の様子がいつもと違う、体調不良などの時に、迅速に看護師に報告し対応している。	

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない。	コロナの流行があり、感染防止のため行っていない。	感染状況を見ながら、地域や近隣との関りを行っていく。
2	家族に対しての研修やペアレントトレーニングなどが、うまく行われていない。	職員の勉強不足。	勉強会を重ね、職員の能力向上に努める。
3			